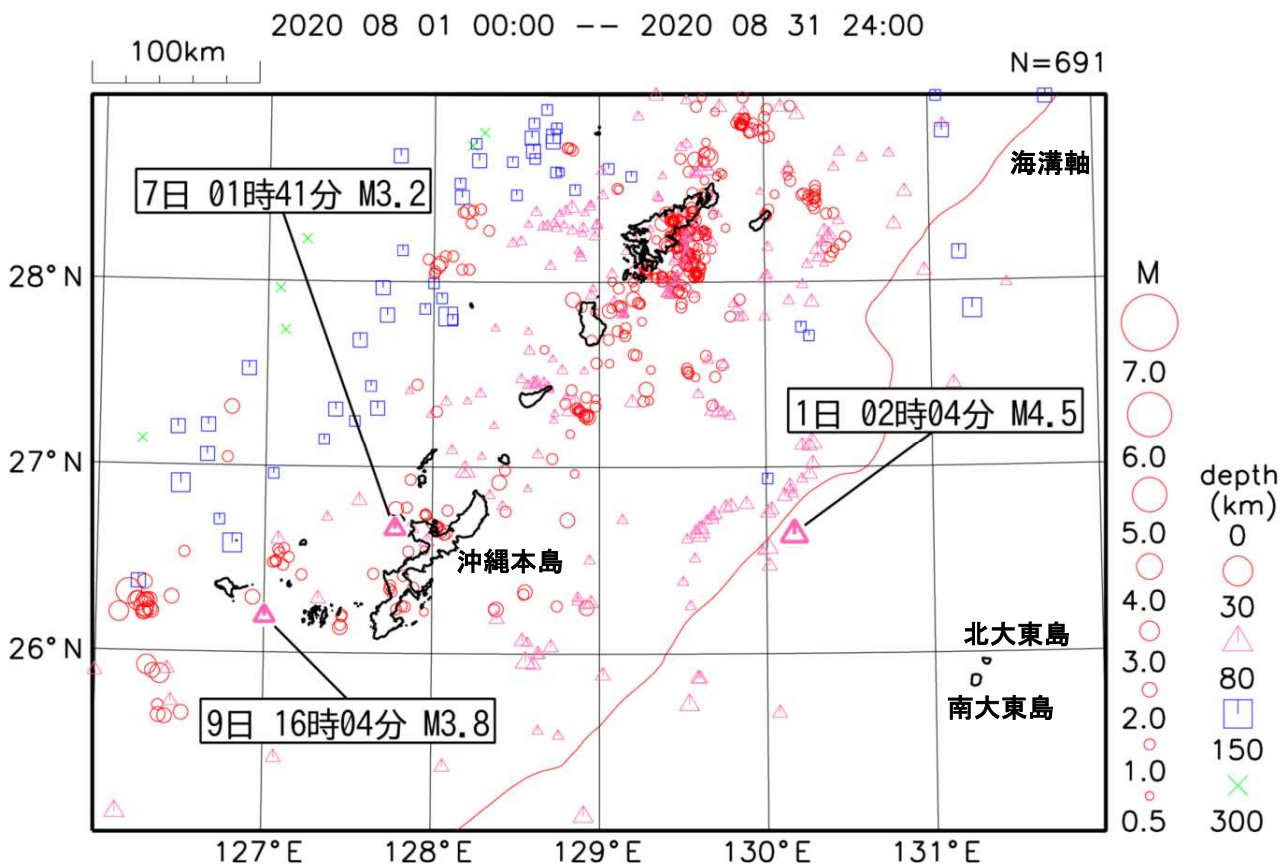


大東島地方の地震活動

2020年8月

南大東島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ

N : 地震回数 (マグニチュード 0.5 以上の回数です)

大東島地方及び沖縄本島地方で震度 1 以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

[概 況]

今期間に、大東島地方で震度 1 以上を観測した地震は 1 回でした (7 月はなし)。なお、沖縄本島地方では 2 回観測しました (7 月はなし)。(詳細は次頁以降に記載)

また、大東島地方周辺 (上図の範囲) で観測した地震は 691 回 (7 月は 604 回) で、このうち M4.0 以上の地震は 4 回 (7 月は 1 回) でした。

1 日 02 時 04 分に奄美大島近海で発生した地震 (M4.5) により、北大東村で震度 1 を観測しました。

なお、大東島地方で震度 1 以上を観測したのは、2020 年 6 月 14 日に奄美大島北西沖で発生した M6.3 の地震 (南大東村、北大東村ともに震度 2) 以来です。

※沖縄地方 (沖縄県) の地震については、沖縄気象台作成の「沖縄地方の地震活動」をご覧ください。

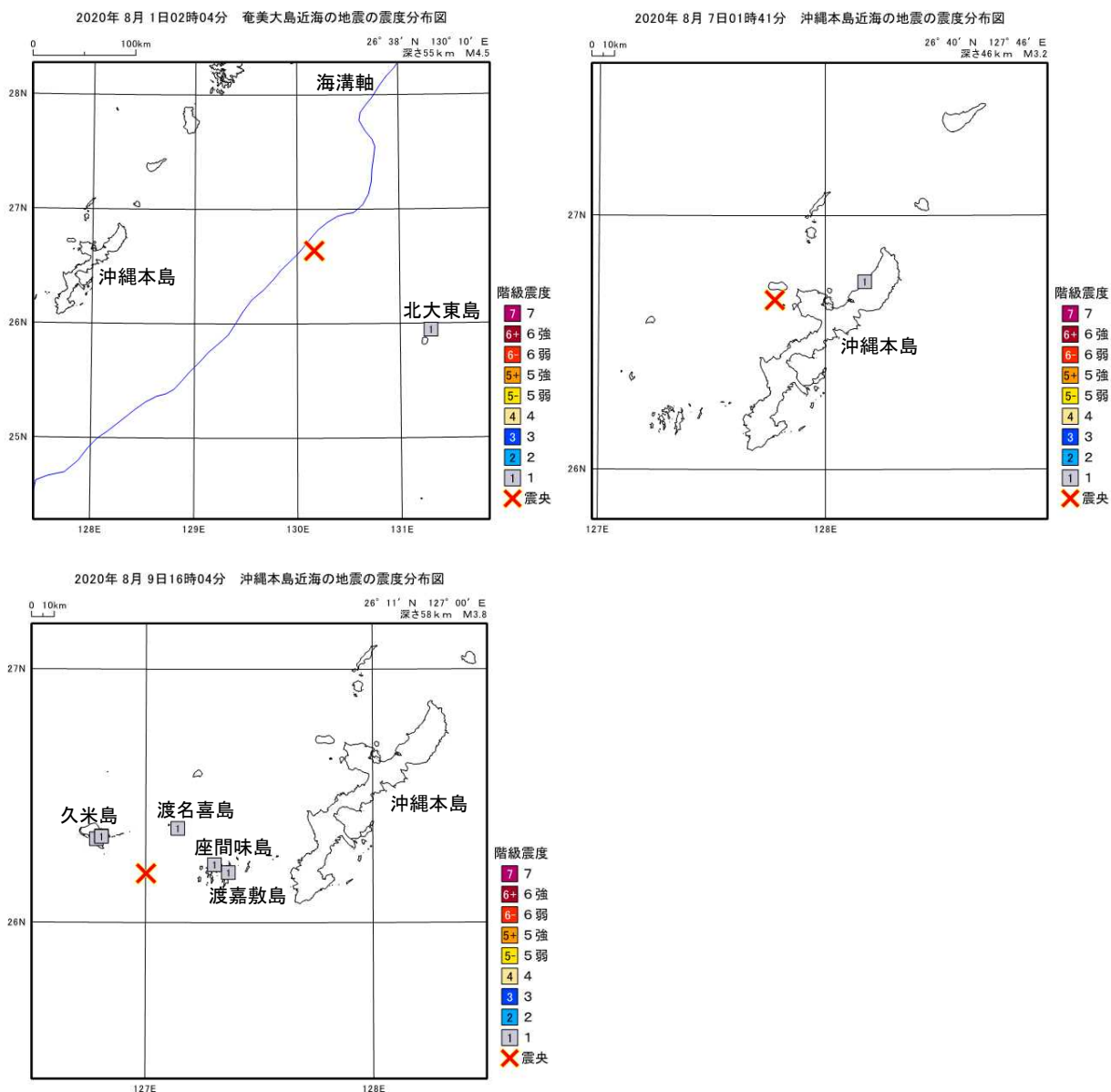
URL : <https://www.jma-net.go.jp/okinawa/data/jishin/month.html>

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2020年8月1日～31日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2020年8月01日02時04分 沖縄県 震度 1：北大東村中野＊	奄美大島近海	26° 38.2' N	130° 10.0' E	55km	M4.5
2020年8月07日01時41分 沖縄県 震度 1：国頭村辺土名＊	沖縄本島近海	26° 40.0' N	127° 46.6' E	46km	M3.2
2020年8月09日16時04分 沖縄県 震度 1：渡嘉敷村渡嘉敷＊, 座間味村座間味＊, 渡名喜村渡名喜＊, 久米島町山城 久米島町謝名堂, 久米島町比嘉＊	沖縄本島近海	26° 11.6' N	127° 00.1' E	58km	M3.8

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図



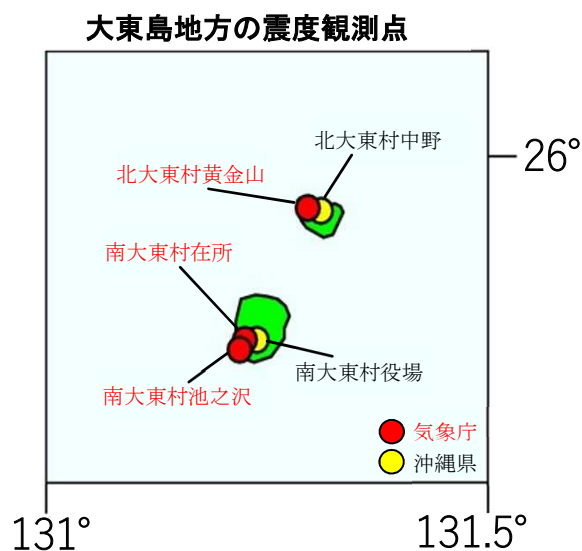
※資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。



 **気象庁 南大東島地方気象台**
Japan Meteorological Agency Minamidaitoujima Local Meteorological Office

本件に関するお問い合わせ先
電話：09802-2-2006
ホームページ：<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

地震の強い揺れから身を守るために 緊急地震速報を活用しよう！

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、数秒から長くても数十秒程度と極めて短く、場合によっては緊急地震速報が強い揺れの到達に間に合わないことがあります。この情報を見聞きして、身を守るためにどのような行動を取るべきか、あらかじめ考えておくことが大切です。

緊急地震速報を見聞きしたときは？

緊急地震速報を見聞きしたときの行動は、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。以下の例を参考に、周囲の状況に応じて身の安全を確保してください。

●家庭では



頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。

●屋外では



ブロック塀の倒壊、看板や割れたガラスの落下に注意する（近づかない）。

●人が大勢いる施設では



施設の係員の指示に従う、落ち着いて行動し、あわてて出口に向かわない（走らない）。

●運転中は



ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促し、緩やかに減速する（急ブレーキをかけない）。

●バスやモノレールに乗車中は



つり革や手すりにしっかりつかまる（揺れに備える）。

●エレベーターでは



最寄の階で停止させ、すぐに降りる（乗らない）。

どうやって訓練するの？

緊急地震速報を見聞きしたら、とっさに行動をしなければなりません。いざという時のために、訓練しておくことも有効です。その訓練のやり方は、大きく分けて2つあります。

1つは、自治体や行政機関などが気象庁から送られた訓練用の緊急地震速報等を活用して行う訓練に参加することです。

- ①市町村等が実施する防災行政無線の放送
- ②行政機関の建物等における館内放送
- ③受信端末に訓練用の緊急地震速報が配信される場合

もう1つは、気象庁ホームページの訓練用動画を活用することです。

→訓練用動画のページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/kunren/kit.html>

そのほか、緊急地震速報の専用受信端末の訓練用機能を利用して独自に訓練することもできます。

気象庁では11月5日（木）に緊急地震速報の訓練を実施します

気象庁では、11月5日（木）10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します

過去の防災一口メモは沖縄气象台ホームページで確認

沖縄气象台ホームページURL <https://www.jma-net.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>